

目 次

刊行のことば

はじめに

- 1 研究会の趣旨
- 2 検討課題
- 3 研究会の構成
- 4 研究会の開催テーマと講師
- 5 執筆者と分担

第 I 部 変貌する水田農業の現局面

- 第 1 章 2015年農林業センサスに基づく組織経営体の構造分析 5
 - 1 農業経営体の展開と構造
 - 2 土地利用型組織経営体の大規模化と地域性
 - 3 組織経営体による経営資源集積の実態
 - 4 法人・集落営農組織区分にみる組織経営体の構造
 - 5 考察と結論

- 第 2 章 水田作経営の経営収支をめぐる諸問題 23
 - 1 個別経営(水田作経営)の経営収支
 - 2 組織法人経営(水田作経営)の経営収支
 - 3 稲作単一経営(稲作部門)の経営収支
 - 4 稲作単一経営(稲作部門)が生み出した付加価値額
 - 5 稲作単一経営(稲作部門)の稲作所得をめぐって
 - 6 米の販売価格と生産販売費用の推移
 - 7 米生産費の近年の動向
 - 8 麦類作部門と白大豆作部門の経営収支

第3章	企業形態別・規模別にみた大規模経営の特徴	55
1	販売金額区分別にみた経営体の割合	
2	常雇の導入と組織経営体の労働力構成	
3	水田利用と経営複合化の現状	
4	環境への負担の軽減の取り組み	
5	農産物の販売(出荷)チャンネル	
6	6次産業化の取り組みの現状	
7	むすび—大規模水田作経営の特徴—	
第4章	我が国農業における活力創造施策の課題	85
1	稲作経営の規模拡大過程におけるコスト削減の阻害要因の考察 —東海地域を事例として—	
2	政策変更に伴う飼料用米生産行動の変化 —秋田県JAかづのを対象として—	
3	総括	
第5章	水田活用の直接支払がもたらした水田利用構造の変化	107
	・はじめに	
1	地域別にみる新規需要米の選択	
2	鹿児島県における粗飼料生産と水田活用の取組	
3	K地区における水田利用構造とその変化	
4	考察	
	・終わりに	
第Ⅱ部	世界の水田農業の諸相	
第6章	カリフォルニアにおける水稲作経営の展望	127
1	背景および課題	
2	規模と垂直統合の理論的前提	
3	カリフォルニアのコメ産業	

4	CA州の水稲作生産費	
5	収穫作業の実態	
6	まとめ	
第7章	イタリア水稲生産の省力化の背景とその方法	145
1	はじめに	
2	両国の稲作における与件の相違	
3	作業効率の比較分析	
4	まとめ	
第8章	韓国の大規模水田作経営における農家間の協調戦略	157
1	はじめに	
2	パートナーシップの形成条件	
3	事例分析	
4	まとめ	
第9章	中国吉林省における稲作構造変化と大規模経営の成長	171
1	中国「三農問題」に関する農業政策の変遷	
2	吉林省農業の特徴と調査対象地	
3	大規模稲作経営の概要と分析結果	
4	大規模経営の成長条件と課題	
第Ⅲ部	21世紀水田農業の将来像と課題	
第10章	米市場の変化からみた水田農業将来像と技術開発課題	183
1	はじめに	
2	高品質ブランド米産地の対応	
3	業務用米をめぐる情勢	
4	コストダウンの可能性	
5	残された技術的・経営的課題	

6	おわりに	
第11章	マルコフモデルによる農業経営の将来像	205
1	構造動態統計について	
2	経営体数予測	
3	担い手経営耕地規模の計算	
4	2005年、2010年、2015年のパネルデータ化	
	補論 マルコフモデルの妥当性	
第12章	21世紀水田農業のあり方をめぐる諸問題	229
1	バブル崩壊後の地方労働市場と水田農業の担い手をめぐって	
2	低コスト化と土地基盤再整備をめぐって	
3	地域格差の拡大と中山間地域の取り組み	
4	水田の畜産的利用と耕畜連携	
5	これからの技術革新と政策支援をめぐって	